

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-3501

(43)公開日 平成10年(1998)1月6日

(51)Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/60			G 0 6 F 15/21	3 3 0
	13/00	3 5 1	13/00	3 5 1 E
H 0 4 L 12/22		9744-5K	H 0 4 L 11/26	

審査請求 有 請求項の数 1 F D (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平8-177449

(22)出願日 平成8年(1996)6月18日

(71)出願人 596099169

尾崎 憲一

千葉県松戸市日暮7-440

(72)発明者 尾崎 憲一

千葉県松戸市日暮7-440

(72)発明者 澤田 富仁

東京都小平市喜平町3-3-10-101

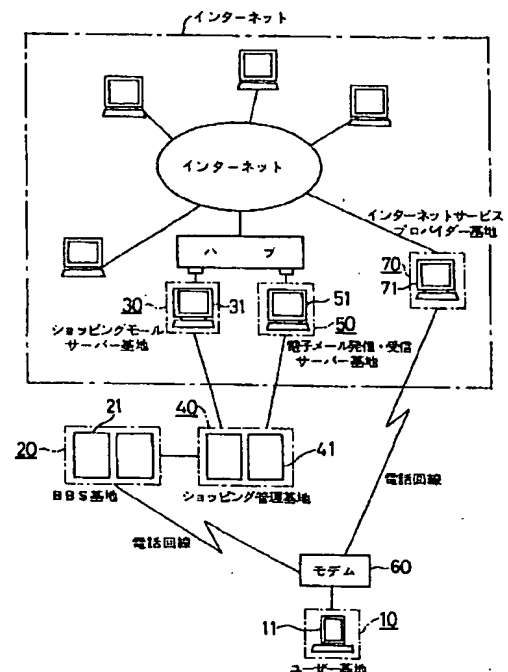
(74)代理人 弁護士 長瀬 弘毅 (外1名)

(54)【発明の名称】 インターネットショッピング上の真正ショッピング確認法

(57)【要約】

【課題】セキュリティの点で優れ、かつ信頼性の高いインターネットショッピング上の真正ショッピング確認法を提供する。

【解決手段】ショッピング管理基地40より電子メール発信・受信サーバー基地50に対し、BBS基地20のホストコンピュータ21より受け渡されたShopping-IDのデータに基づき、受注時にショッピングモールサーバー基地30により付された受注番号にショッピング管理基地40とユーザー基地10のみが知り得る付加情報を付して構成する管理番号を購入内容に附記して受け渡す。電子メール受信・送信サーバー基地50よりユーザー基地10に対し、管理番号及び購入内容の連絡を電子メールにて行う。ユーザー基地10より電子メール発信・受信サーバー基地50に対し、管理番号と購入内容の諾否を電子メールにより連絡する。電子メール発信・受信サーバー基地50よりショッピング管理基地40に対し、ユーザー基地10より電子メール発信・受信サーバー基地50になされた管理番号と購入内容の諾否の連絡を受け渡しする。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】端末機(11)を備えたユーザー基地(10)と、

該ユーザー基地(10)の端末機(11)とダイヤルアップ接続されたBBSホストコンピュータ(21)を備えたBBS基地(20)と、

前記ユーザー基地(10)の端末機(11)とインターネット経由で接続され、前記ユーザー基地(10)の端末機(11)よりアクセスされることによりインターネットショッピングモールを提供するサーバー(31)を備えたショッピングモールサーバー基地(30)と、

該ショッピングモールサーバー基地(30)のサーバー(31)とLAN間接続され、前記ショッピングモールサーバー基地(30)のサーバー(31)が提供するインターネットショッピングモールによるショッピングを管理するホストコンピュータ(41)を備えたショッピング管理基地(40)と、

該ショッピング管理基地(40)のホストコンピュータ(41)とLAN間接続されたサーバー(51)を備えた電子メール発信・受信サーバー基地(50)とを含んで構築されたネットワークにおいて、

前記ユーザー基地(10)より前記BBS基地(20)に電話回線を介してユーザー固有情報が連絡されると、そのユーザー固有情報を前記ショッピング管理基地(40)のホストコンピュータ(41)に登録する第1ステップと、

連絡されたユーザー固有情報に基づき前記ショッピング管理基地(40)のホストコンピュータ(41)が発行する、ユーザー固有情報に代わるShopping-IDを、前記BBS基地(20)より前記ユーザー基地(10)に送信する第2ステップと、

発行されたShopping-IDを用いて、前記ユーザー基地(10)より前記ショッピングモールサーバー基地(30)のインターネットショッピングモールにおいて商品の購入申込みを行う第3ステップと、

前記ショッピングモールサーバー基地(30)より前記ユーザー基地(10)に対し、使用されたShopping-IDに基づき、商品の購入申込みに対応する購入内容、受注番号の連絡を行う第4ステップと、

前記ショッピングモールサーバー基地(30)より前記ショッピング管理基地(40)に対し、前記ユーザー基地(10)による商品の購入に伴うShopping-ID、購入内容、受注番号を含む受注データの受け渡しをインターネット上で行う第5ステップと、

前記ショッピング管理基地(40)より前記電子メール発信・受信サーバー基地(50)に対し、前記BBS基地(20)のホストコンピュータ(21)より受け渡されたShopping-IDのデータに基づき、受注時に前記ショッピングモールサーバー基地(30)により付された受注番号に前記ショッピング管理基地(40)

2

と前記ユーザー基地(10)のみが知り得る付加情報を付して構成する管理番号を購入内容に附記して受け渡す第6ステップと、

前記電子メール発信・送信サーバー基地(50)より前記ユーザー基地(10)に対し、管理番号及び購入内容の連絡を電子メールにて行う第7ステップと、前記ユーザー基地(10)より前記電子メール発信・受信サーバー基地(50)に対し、管理番号と購入内容の諾否を電子メールにより連絡する第8ステップと、

前記電子メール発信・受信サーバー基地(50)より前記ショッピング管理基地(40)に対し、前記ユーザー基地(10)より前記電子メール発信・受信サーバー基地(50)になされた管理番号と購入内容の諾否の連絡を受け渡しする第9ステップを含んでなるインターネットショッピング上の真正ショッピング確認法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はインターネット上のショッピングが真正な購入者によるショッピングであるか否かの確認を行う方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

(発明の背景及び従来技術)新しい通信方法として、通信コストが安く、アクセスの容易なインターネット(ネットワークを接続するネットワーク)が急速に発達してきており、このインターネットを利用し広告を見て買いたいと思った人々に対する販売のメディアとしてインターネット上のショッピングが展開されてきている。

【0003】電子掲示板システムといわれるパソコン通信サービス(Bulletin Board System;以下本明細書中において「BBS」という)を利用したショッピングにおいてはハッキングの可能性が低いため、ショッピングの決済においてクレジットカードの使用が認められている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】インターネットをビジネスにおいて活用するためには厳格なセキュリティと高い信頼性が要求される。インターネット上でショッピングをするときには、インターネットがオープンなメディアであるため、特に商品の申し込み(お金のやりとり)の部分が重要となるが、ショッピングの決済をクレジットカードで行なうためクレジットカードの番号を直接パソコンで入力した場合には、クレジットカードの番号が通信の途中で第3者に漏洩し悪用(ハッキング)される危険があるためクレジットカードの使用が認められないという問題点がある。

【0005】そこで、本発明においては、セキュリティの点で優れ、かつ信頼性の高いインターネットショッピング上の真正ショッピング確認法を提供することを課題としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】本願の請求項1の発明は、端末機を備えたユーザー基地と、該ユーザー基地の端末機とダイヤルアップ接続されたBBSホストコンピュータを備えたBBS基地と、前記ユーザー基地の端末機とインターネット経由で接続され、前記ユーザー基地の端末機よりアクセスされることによりインターネットショッピングモールを提供するサーバーを備えたショッピングモールサーバー基地と、該ショッピングモールサーバー基地のサーバーとLAN間接続され、前記ショッピングモールサーバー基地のサーバーが提供するインターネットショッピングモールによるショッピングを管理するホストコンピュータを備えたショッピング管理基地と、該ショッピング管理基地のホストコンピュータとLAN間接続されたサーバーを備えた電子メール発信・受信サーバー基地とを含んで構築されたネットワークにおいて、前記ユーザー基地より前記BBS基地に電話回線を介してユーザー固有情報が連絡されると、そのユーザー固有情報を前記ショッピング管理基地のホストコンピュータに登録する第1ステップと、連絡されたユーザー固有情報に基づき前記ショッピング管理基地のホストコンピュータが発行する、ユーザー固有情報に代わるShopping-IDを、前記BBS基地より前記ユーザー基地に送信する第2ステップと、発行されたShopping-IDを用いて、前記ユーザー基地より前記ショッピングモールサーバー基地のインターネットショッピングモールにおいて商品の購入申込みを行う第3ステップと、前記ショッピングモールサーバー基地より前記ユーザー基地に対し、使用されたShopping-IDに基づき、商品の購入申込みに対応する購入内容、受注番号の連絡を行う第4ステップと、前記ショッピングモールサーバー基地より前記ショッピング管理基地に対し、前記ユーザー基地による商品の購入に伴うShopping-ID、購入内容、受注番号を含む受注データの受け渡しをインターネット上で行う第5ステップと、前記ショッピング管理基地より前記電子メール発信・受信サーバー基地に対し、前記BBS基地のホストコンピュータより受け渡されたShopping-IDのデータに基づき、受注時に前記ショッピングモールサーバー基地により付された受注番号に前記ショッピング管理基地と前記ユーザー基地のみが知り得る付加情報を付して構成する管理番号を購入内容に附記して受け渡す第6ステップと、前記電子メール発信・送信サーバー基地より前記ユーザー基地に対し、管理番号及び購入内容の連絡を電子メールにて行う第7ステップと、前記ユーザー基地より前記電子メール発信・受信サーバー基地に対し、管理番号と購入内容の諾否を電子メールにより連絡する第8ステップと、前記電子メール発信・受信サーバー基地より前記ショッピング管理基地に対し、前記ユーザー基地より前記電子メール発信・受信サーバー基地になさ

れた管理番号と購入内容の諾否の連絡を受け渡しする第9ステップを含んでなるインターネットショッピング上の真正ショッピング確認法である。

【0007】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を添付図面とともに説明する。

【0008】図1は本発明を実施するために必要となるネットワークの構成概略図、図2はユーザー登録時のステップを示す概略図、図3は商品購入時のステップを示す概略図である。

【0009】これらの図において、本発明に係る真正ショッピング確認法を実施するために、端末機11を備えたユーザー基地10と、このユーザー基地10の端末機11とダイヤルアップ接続されたBBSホストコンピュータ21を備えたBBS基地20と、ショッピングモールサーバー基地30と、ショッピング管理基地40と、電子メール発信・受信サーバー基地50とを含んでネットワークを構築する。

【0010】このうち、前記ショッピングモールサーバー基地30は、前記ユーザー基地10の端末機11とインターネット経由で接続され、前記ユーザー基地10の端末機11よりアクセスされることによりインターネットショッピングモールを提供するサーバー31を備えている。

【0011】前記ショッピング管理基地40は、前記ショッピングモールサーバー基地30のサーバー31とLAN(Local Area Network)間接続され、前記ショッピングモールサーバー基地30のサーバー31が提供するインターネットショッピングモールによるショッピングを管理するホストコンピュータ41を備えている。

【0012】前記電子メール発信・受信サーバー基地50は、前記ショッピング管理基地40のホストコンピュータ41とLAN間接続されたサーバー51を備えている。

【0013】符号60、60Aはモデムを示し、70は前記ユーザー基地10の端末機11に接続されたサーバー71を備えたインターネットサービスプロバイダー基地を示す。

【0014】本発明に係る真正ショッピング確認法は次のステップを含んでいる。

第1ステップ：ユーザー基地10よりBBS基地20に電話回線を介してユーザー固有情報（例えば、ユーザーの住所・名前・電話番号・電子メールアドレス・クレジットカード番号、有効期限等）が連絡されると、そのユーザー固有情報をショッピング管理基地40のホストコンピュータ41に登録する（図2の（イ）（ロ）のステップ）。

【0015】第2ステップ：連絡されたユーザー固有情報に基づきショッピング管理基地40のホストコンピュータ41が発行する、ユーザー固有情報に代わるSho

5

pping-IDを、BBS基地20よりユーザー基地10に送信する(図2の(ハ)(ニ)のステップ)。

【0016】第3ステップ:発行されたShopping-IDを用いて、ユーザー基地10よりショッピングモールサーバ基地30のインターネットショッピングモールにおいて商品の購入申込みを行う(図3の(ホ)のステップ)。

【0017】第4ステップ:ショッピングモールサーバ基地30よりユーザー基地10に対し、使用されたShopping-IDに基づき、商品の購入申込みに対応する購入内容、受注番号(例えば:BEK-A00001)の連絡を行う(図3の(ヘ)のステップ)。

【0018】第5ステップ:ショッピングモールサーバ基地30よりショッピング管理基地40に対し、ユーザー基地10による商品の購入に伴うShopping-ID、購入内容、受注番号を含む受注データの受け渡しをインターネット上で行う(図3の(ト)のステップ)。

【0019】第6ステップ:ショッピング管理基地40より電子メール発信・受信サーバ基地50に対し、BBS基地20のホストコンピュータ21より受け渡されたShopping-IDのデータに基づき、受注時にショッピングモールサーバ基地30により付された受注番号に前記ショッピング管理基地40とユーザー基地10のみが知り得る付加情報(例えば4桁の乱数:1819)を付して構成する管理番号(例えばBEK-A0001-1819)を購入内容に附記して受け渡す(図3の(チ)のステップ)。

【0020】第7ステップ:電子メール受信・送信サーバ基地50よりユーザー基地10に対し、管理番号及び購入内容の連絡、例えば、
『・管理番号の内容と同意される場合はYES、同意されない場合はNOと入力しshop-mgr@bekkooame.or.jpまで電子メールをお送り下さい。
・お客様の同意をもって初めて発送の手配を致します。
・また一週間以内に同意のメールがない場合は同意されないものと判断し注文を取り消します。』
を電子メール(E-mail)にて行う(図3の(リ)のステップ)。

【0021】第8ステップ:ユーザー基地10より電子メール発信・受信サーバ基地50に対し、管理番号と購入内容の可否を電子メールにより連絡する(図3の(ヌ)のステップ)。

【0022】第9ステップ:電子メール発信・受信サーバ基地50よりショッピング管理基地40に対し、ユーザー基地10より電子メール発信・受信サーバ基地50になされた管理番号と購入内容の可否の連絡を受け渡しする(図3の(ル)のステップ)。

【0023】Shopping-IDを盗んだ不真正なユーザーが買い物をする場合、発行されたShopping-ID

6

ng-IDを用いて、ユーザー基地10よりショッピングモールサーバ基地30のインターネットショッピングモールにおいて商品の購入申込みを行う第3ステップ

(図3の(ホ')のステップ)及びショッピングモールサーバ基地30よりユーザー基地10に対し、使用されたShopping-IDに基づき、商品の購入申込みに対応する購入内容、受注番号の連絡を行う第4ステップ(図3の(ヘ')のステップ)までは真正なユーザーか否かの確認は取れない。しかしながら、第7ステップに至り、電子メール受信・送信サーバ基地50よりユーザー基地10に対し、管理番号及び購入内容の電子メールによる連絡は登録されたアドレスに送られるため、真正のユーザーしか電子メールを受け取ることができない(電子メールを受け取るためにはパスワードが必要)。真正なユーザーは、当然に第8ステップの連絡において“NO”の連絡を行うのでこの場合の注文は成立しない。また、不真正なユーザーが本人に成りすまして“YES”の返事をしようとしても管理番号に付された付加情報(乱数)までも盗むことはできないため真正のユーザーに成りすまして商品購入の連絡を行うことはできない。

【0024】

【発明の効果】本発明は以上の如く構成され本発明によれば次の効果を奏する。

①クレジットカードの番号の受け渡しは安全なBBS上で行い、インターネット上ではクレジットカードの番号の知らせずに買い物ができるため、セキュリティの点で優れたインターネットショッピング上の真正ショッピング確認法が得られる。

②Shopping-IDが盗まれた場合でも、盗まれたときの確認を的確に行なえるため、信頼性が高いインターネットショッピング上の真正ショッピング確認法を提供することにある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を実施するために必要となるネットワークの構成概略図である。

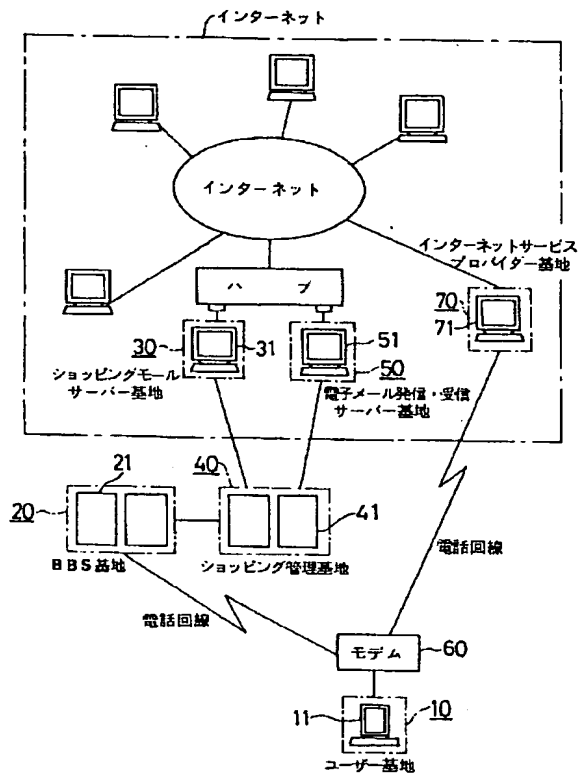
【図2】ユーザー登録時のステップを示す概略図である。

【図3】商品購入時のステップを示す概略図である。

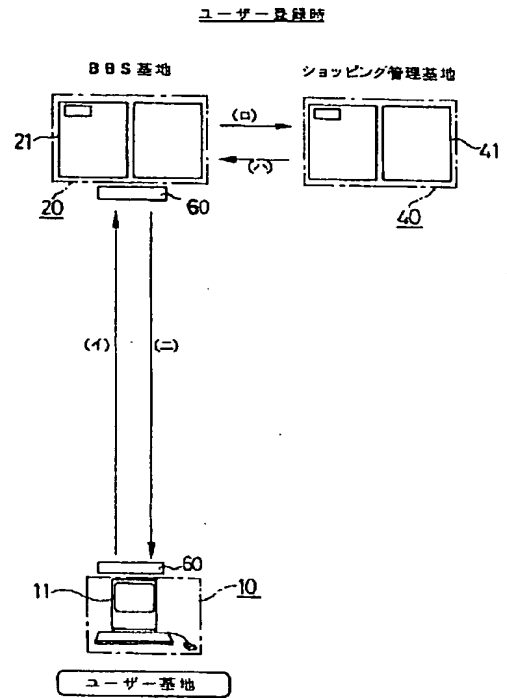
【符号の説明】

10	ユーザー基地
11	端末機
20	BBS基地
21	BBSホストコンピュータ
30	ショッピングモールサーバ基地
31	サーバ
40	ショッピング管理基地
41	ホストコンピュータ
50	電子メール発信・受信サーバ基地
51	サーバ

【図1】



【図2】



【図3】

商品購入時

